

# JCI-TC131A 性能設計対応型ポーラスコンクリートの施工標準と品質保証体制 の確立研究委員会

## 第4回 研究委員会 議事録(案)

■日時：2014年2月7日(金) 13:00~18:00

■場所：(公社)日本コンクリート工学会 第5会議室  
(東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル11F)

■資料：1. 第3回委員会(2013.10.29) 議事録(案)  
2. シンポジウム開催に関する幹事会議(2013.11.20) メモ(案)  
3. シンポジウム記録(2013.12.21) メモ(案)  
4. シンポジウム未配布資料(岡本副委員長概説及び総括、参加者名簿)  
5. 各分科会資料

■出席者：畑中、岡本、梶尾、国枝、三島、浅野、伊神、伊藤、石田、加形、片平、木村、柳橋、麓、平岩、成田、鶴田、玉井、高山、杵本、齋藤 以上21名

### ■議事：

1. 委員長挨拶(畑中委員長) 13:00~
    - ・5月以降(次年度)にWGの組み替えを行う予定。
    - ・次年度には共通実験も実施予定。
    - ・次年度に向けた委員の追加についても審議したい(後述)。
    - ・次回の委員会(5月)までに、今年度の活動内容は報告書として取りまとめる。
  2. 前回議事録(案)確認(三島幹事)
    - ・三島より資料2に基づき説明された。
    - ・ホームページに公開される前に、個別の内容に関して公開の可否を幹事で確認することとした。
  3. シンポジウム開催報告
    - ・三島より資料3に基づき説明された。
    - ・質疑内容1.の1つ目の・の回答内容の最後「検討した」を「技術開発と施工が一体で発注した(性能規定型)。」に修正。
    - ・ポーラスコンクリートが、市民権を得るためのより一層の活動が必要。例えばヒートアイランド現象の改善に対してどの程度の効果があるのかなどを、マスコミに大きく訴える必要がある(意見)。
    - ・大きなテーマをいくつか作る必要がある。上記の他に、LCC、都市環境改善、CO<sub>2</sub>の吸収など。
    - ・東北の震災の復興のタイミングでポーラスコンクリートを提案できないか?→委員会としては規準等の整備を進め、土台を作ることを目的とする。その後の個別の提案は企業などが中心となって進める。
  4. 今後の委員会活動方針について
    - ・幹事会メモに基づき、梶尾幹事長より説明があった。
    - ・規準案まで作成するのか?→前回委員会で作成されたものをベースに加筆・修正を行う。
    - ・試験体の作成方法として質量管理を提案したい(意見)。
    - ・新WGの振分けは次回委員会で行う。
- ・最終報告書の目次案

#### 【第I部】

1. 序
2. 品質・性能WG(研究動向)
3. 製品WG(製品の現状と課題)
4. 現場WG(用途別性能設計の事例)

#### 【第II部】

1. 序

2. POC の性能設計（発注者の要求事項）
3. POC の製造・施工（施工標準）
4. POC の品質管理および維持管理（品質保証体制）←機能回復も入れるか？
5. 規準（試案）

・上記[第 II 部]の 2~4 章の流れについては、高田氏（阪神高速道路）の資料に基づき、岡本副委員長に資料を作成していただく。→次回委員会

5. 各分科会活動（2 時間、休憩含む） 14:30~
  - ・3 つの WG に分かれて審議が行われた。
6. 各分科会活動報告（各 20 分、審議含む） 16:30~
  - <品質・性能 WG>
    - ・現状の報告書の草稿は回覧とした（ページが多いため）。
    - ・品質・性能 WG の報告書は第 2 章となる。（幹事会での審議内容）
    - ・一般特性に透水性を、用途に吸音特性を追加する。
    - ・現状の各委員の報告書の内容に、以下の項目で足りないものを追加する。また、試験方法に関する言及も加える。
      - 1) 2003 報告書の概要
      - 2) 最近の研究紹介
      - 3) 課題
    - ・各委員の報告書の修正版を 3 月末に WG メンバーに送付。その後、担当者が査読を行う。担当者は目次の次の委員とする。
    - ・図表の引用方法（転載許可）について、JCI 大野氏に確認する。
  - <現場 WG>
    - ・資料 4-6-1 に基づき取りまとめ方針の変更について説明があった。
    - ・メリット、デメリットに関して取りまとめる。
    - ・メ切は 3 月末とし、クロスチェックも行う。
    - ・アンケート結果の表は付録とする。
    - ・図番号は「図-2.2.2.1」のように 4 桁で付ける。
    - ・文献番号は筆者ごとに[1]..の形式で付ける。
  - <製品 WG>
    - ・資料 4-5 に基づき説明があった。
    - ・緑化ブロックのアンケートの返事がない。
    - ・社会へのアピールについては継続審議（全体の課題として取り扱う）。
    - ・課題の整理と解決方法をまとめる。
    - ・生コン工場にはアンケートを採っていない→次年度
7. 今後のスケジュール確認
  - ・次回（新年度第 1 回）：5/14(水)13:00-17:00@JCI 会議室
  - ・次年度は委員会を 4~5 回行う予定
  - ・次々年度に報告会（シンポジウム）@東京、6 月頃の予定（参加者に発注者側の人を集める）
8. その他
  - ・委員の追加：シンポジウムで講演された高田佳彦氏（阪神高速道路）を委員に追加する提案がなされ、本人に意向を確認して了解が得られれば追加することとした。

以上